

公共施設マネジメント計画第1期実行計画進捗状況一覧（平成29年度）

資料 1-2

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備考	
			施設 (建物)	機能 (サービス)							
庁舎等施設	1	豊岡地区センター	施設再編		1-1	着手 (事業)	基本計画を作成し、それをもとに庁内及び関係機関と協議・調整をする。	公共施設適正化に係る事前協議制度(推進部会・推進会議)において協議を行うとともに、地元建設検討委員会等の意見を参考に基本計画を作成した。	平成31年度の工事着手に向け、基本・実施設計を実施する。		
	2	清滝出張所	施設再編		1-2	着手 (検討)	近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行う。(女性サポートセンター・清滝公民館・安良沢小学校・清滝小学校の統合について検討する。)	女性サポートセンター・清滝体育館の中に清滝出張所・清滝公民館を統合する再編案を基本として庁内関係課による検討・調整を行った。また、小学校については学校統廃合の検討に委ねることとした。	清滝郵便局複合化についての協議が日本郵便からあったことから、郵便局機能の複合の可能性について、検討・協議を進め、庁内関係課間で再編後の施設の機能を調整する。また、地区住民への説明・調整等を進める。		
	3	小来川地区センター	施設再編			着手 (検討)	近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行う。(小来川地区センター・小来川公民館・小来川小中学校・小来川保育園・林業研修センター・放課後児童クラブの統合について検討する。)	関係各課が集まり、集約・再編にあたっての課題の抽出等、検討を行った。	引き続き、近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行うとともに、合わせて、地区住民による検討会議等を設置し、合意形成を図りながら検討を進める。		
	4	南原出張所	施設継続	機能継続	1-3	着手 (検討)	年次目標なし	建築基準法による12条点検を実施(管財課主管)	12条点検の報告結果を踏まえ、今後の改修計画の検討をおこなう。(トイレ改修事業については、本年度実施予定)		
	5	旧春日町庁舎	施設廃止	機能継続	—	着手 (検討)	代替貸与可能な施設について検討する。	現状では、代替貸与できる施設がないため、市庁舎の建設完了後に市有施設で貸与可能な施設について検討する。	代替貸与可能な施設について検討・調整する。		
小中学校	6	今市小学校	施設再編		2-1	着手 (検討)	建物の老朽化の状況や教育環境の改善を踏まえて、同一中学校区内において学校統合・集約の是非についての検討を行う。	これまでと状況が大きく変わっていないことから、適正配置の優先度は低いと判断し、H38までに検討していくこととした。	建物の老朽化の状況や教育環境の改善を踏まえて、同一中学校区内において学校統合・集約の是非についての検討を行う。		
	7	轟小学校	施設再編			着手 (検討)	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基に、H38年度までに地元PTAへの説明会や地元検討会、施設調査などを行い、適正配置を推進する。	轟小学校、大桑小学校、小百小学校との統合に向けては、H31年度から地元説明会を実施することとした。	年次目標なし		
	8	大桑小学校	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	同上	
	9	小百小学校	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	同上	
	10	大沢小学校	施設再編			着手 (検討)	年次目標なし	平成28年度に策定した「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基本とし、H38年までは適正配置の対象校としないとした。	年次目標なし		
	11	猪倉小学校	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	同上	
	12	下原小学校	施設再編			着手 (検討)	建物の老朽化の状況や教育環境の改善を踏まえて、同一中学校区内において学校統合・集約の是非についての検討を行う。	これまでと状況が大きく変わっていないことから、適正配置の優先度は低いと判断し、H38までに検討していくこととした。	建物の老朽化の状況や教育環境の改善を踏まえて、同一中学校区内において学校統合・集約の是非についての検討を行う。		
	13	落合西小学校	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	同上	
	14	落合東小学校	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	同上	
	15	小林小学校	施設再編			着手 (検討)	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基に、H38年度までに地元PTAへの説明会や地元検討会、施設調査などを行い、適正配置を推進する。	併設に向けては、H32年度から地元説明会を行うこととした。	年次目標なし		
16	小林中学校	施設再編		着手 (検討)	同上	同上	同上	同上			

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備考	
			施設 (建物)	機能 (サービス)							
小中学校	17	野口小学校	施設再編		2-1	着手 (事業)	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基に、PTAや自治会などと適正配置に向けた協議を行い、意見の集約を図る。	日光小学校等との統廃合に向け保護者説明会を実施した。また、保護者・地元自治会・学校の代表者により組織する適正配置検討会を立ち上げ、協議を開始した。	前年度に引き続き、適正配置検討会において協議を行い意見の集約を図る。合意形成が得られれば、統廃合に向け準備を進めていく。		
	18	日光小学校	施設再編			着手 (事業)	同上	野口小学校及び所野小学校の日光小学校への統合に向けた保護者説明会を実施した。	野口小学校及び所野小学校の適正配置検討会の結果を踏まえ、保護者説明会を実施する。統合となる場合には、統合に向けた準備を進めていく。		
	19	所野小学校	施設再編			着手 (事業)	同上	日光小学校等との統廃合に向け保護者説明会を実施した。また、保護者・地元自治会・学校の代表者により組織する適正配置検討会を立ち上げ、協議を開始した。	前年度に引き続き、適正配置検討会において協議を行い意見の集約を図る。合意形成が得られれば、統廃合に向け準備を進めていく。		
	20	日光中学校	施設再編			着手 (検討)	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基に、H38年度までに地元PTAへの説明会や地元検討会、施設調査などを行い、適正配置を推進する。	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」の中で、日光中学校と安良沢小学校、清滝小学校を統合が望ましいとした上で、統廃合に向けては、H30年度から地元説明会を実施することとした。	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基に、保護者説明会や地元説明会を実施する。また、適正配置検討会を立ち上げる。		
	21	安良沢小学校	施設再編			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	22	清滝小学校	施設再編			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	23	鬼怒川小学校	施設再編			着手 (検討)	建物の老朽化の状況や教育環境の改善を踏まえて、同一中学校区内において学校統合・集約の是非についての検討を行う。	これまでと状況は大きく変わっていないことから、適正配置の優先度は低いと判断し、H38までに検討していくこととした。	建物の老朽化の状況や教育環境の改善を踏まえて、同一中学校区内において学校統合・集約の是非についての検討を行う。		
	24	足尾小学校	施設再編			着手 (検討)	「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」を基に、H38年度までに地元PTAへの説明会や地元検討会、施設調査などを行い、適正配置を推進する。	足尾中学校との統廃合に向け保護者説明会を実施した。また、保護者・地元自治会・学校の代表者により組織する適正配置検討会を立ち上げ、協議を開始した。	前年度に引き続き、適正配置検討会において協議を行い意見の集約を図る。合意形成が得られれば、統廃合に向け準備を進めていく。		
	25	足尾中学校	施設再編			着手 (検討)	同上	足尾小学校との統廃合に向け保護者説明会を実施した。また、保護者・地元自治会・学校の代表者により組織する適正配置検討会を立ち上げ、協議を開始した。	同上		
	26	栗山小学校	施設再編			完了	H29年4月に、小中学校を併設。	小中学校が併設となった。	年次目標なし	当面は年次目標なし。	
	27	栗山中学校	施設再編			完了	同上	同上	機能廃止後の跡地活用については、今後、利活用対象財産の検討スキームで協議・調整する。	引き続き栗山中学校跡地の利活用を検討する。	
	28 ①	小来川小・中学校	施設継続	機能継続		2-2	着手 (検討)	近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行う。 (小来川地区センター・小来川公民館・小来川小中学校・小来川保育園・林業研修センター・放課後児童クラブの統合について検討する。)	関係各課が集まり、集約・再編にあたっての課題の抽出等、検討を行った。	引き続き、近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行う。合わせて、地区住民による検討会議等を設置し、合意形成を図りながら検討を行う。	
	29 ①	中宮祠小・中学校	施設継続	機能継続			未着手	学校施設の築年や劣化状況、施設利用状況等をもとに、近隣公共施設等との統合・集約の是非について検討する。	学校施設の生徒数の推移や利用状況を踏まえると現状を維持する方向のため、近隣公共施設等との統合・集約のあり方についての検討は、未着手であった。	学校施設の築年や劣化状況、施設利用状況等をもとに、近隣公共施設等との統合・集約の是非について検討する。	

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度目標	H29 年度実績	H30 年度目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
	28 ②	小来川小・中学校	施設継続	機能継続	2-3	未着手	学校施設長寿命化計画の策定に向けて、改修部位や経費、工程、策定方針などを検討する。	H32までに、学校施設長寿命化計画を策定することとしているが、個別施設の検討は行えなかった。	学校施設長寿命化計画の策定にあたり、施設の劣化状況を把握する必要があるため、調査手法等を検討する。	
	29 ②	中宮祠小・中学校	施設継続	機能継続		未着手	学校施設長寿命化計画の策定に向けて、改修部位や経費、工程、策定方針などを検討する。	H32までに、学校施設長寿命化計画を策定することとしているが、個別施設の検討は行えなかった。	学校施設長寿命化計画の策定にあたり、施設の劣化状況を把握する必要があるため、調査手法等を検討する。	
	30	東原中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	31	今市第二小学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	32	今市第三小学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	33	今市中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	34	豊岡中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	35	大室小学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	36	南原小学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	37	大沢中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	38	落合中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	39	東中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	40	藤原中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
	41	湯西川小・中学校	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	
市営住宅	42	所野第2住宅	施設廃止	機能廃止	3-1	着手 (検討)	地域内市営住宅への集約・統合の事業実施時期、進め方等部内で検討を行う。	検討の結果、集約化については、入居状況、入居世帯の現状(高齢単身世帯の増加)から早期実施は困難で、次期長寿命化計画策定における地域内市営住宅の集約の検討に合わせてH32年度に協議、調整を行う。	同上	
	43	自由ヶ丘住宅	施設廃止	機能廃止		着手 (事業)	H30. 3月入居に向けて、10月までに自由ヶ丘、下原住宅からの入居者を募集し、11月までに抽選により決定し、大原住宅への集約を進める。	自由ヶ丘住宅からは、20世帯が大原住宅(5号棟:17世帯、4号棟:1世帯、3号棟:1世帯、2号棟:1世帯)に入所。	大原住宅に返還届があり次第、自由ヶ丘、下原住宅からの集約を進める。	
	44	下原住宅	施設廃止	機能廃止		着手 (事業)	同上	下原住宅からは、5世帯が大原住宅5号棟に入所。	同上	
	45	足尾松原住宅	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	安全性確保のための修繕等に対応し、将来的に廃止の方向性で検討する。 入居者の意向等を踏まえながら、地域内の他市営住宅への集約を促す。	検討の結果、集約化については、入居状況、入居世帯の現状(高齢単身世帯の増加)から早期実施は困難なため、次期長寿命化計画策定における地域内市営住宅の集約の検討に合わせてH32年度に協議、調整を行う。	集約化について、H32年度に協議、調整を行うため、入居状況、入居世帯の現状の把握等に努める。	
	46	田元住宅	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上	同上	同上	
	47	赤沢住宅	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上	同上	同上	
	48	日向住宅	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	安全性確保のための修繕等に対応し、将来的に廃止の方向性で検討する。 入居者の意向等を踏まえながら、地域内の他市営住宅への集約を促す。	安全性確保のための修繕等に対応し、将来的に廃止の方向性であるため、入居者の意向等を踏まえながら、地域内の他市営住宅への集約を促した。結果、入居替えは考えられない旨の回答があった。	安全性確保のための修繕等に対応し、将来的に廃止の方向性であるため、入居者の意向等を踏まえながら、地域内の他市営住宅への集約を再度促していく。	

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
市営住宅	49	花石町住宅	施設再編		3-2	着手 (検討)	集約化について、入居状況、入居世帯の現状(高齢単身世帯の増加)を踏まえ検討を行う。	平成28年度から入居状況、入居世帯の大きな変化が見られず早期調整は困難なことから、協議を見送ることとし、H32年度に協議、調整を行うこととした。	集約化について、H32年度に協議、調整を行うため、入居状況、入居世帯の現状の把握等に努める。	
	50	稲荷町住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	集約化について、入居状況、入居世帯の現状(高齢単身世帯の増加)を踏まえ検討を行う。	同上	同上	
	51	久次良町第1住宅	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	52	久次良町第2住宅	施設再編			着手 (検討)	集約化について、入居状況、入居世帯の現状(高齢単身世帯の増加)を踏まえ検討を行う。公営住宅等長寿寿命化等計画に基づき、屋根外壁改修を実施する。	平成28年度から入居状況、入居世帯の大きな変化が見られず早期調整は困難なことから、協議を見送ることとし、H32年度に協議、調整を行うこととした。屋根外壁工事を実施した。	同上	
	53	大原住宅	施設継続	機能継続		着手 (事業)	H30. 3月入居に向けて、10月までに自由ヶ丘、下原住宅からの入居者を募集し、11月までに抽選により決定し、大原住宅への集約を進める。	5号棟へ24世帯、4号棟へ1世帯、3号棟へ1世帯、2号棟へ1世帯の計27世帯が大原住宅に集約。	大原住宅に返還届があり次第、自由ヶ丘、下原住宅からの集約を進める。	
	54	上間藤住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	計画的な改修を順次実施するとともに、地域内の市営住宅の集約化等も視野に入れた調整を行う	入居時における修繕を随時実施。中規模・大規模改修については、次期長寿命化計画策定における地域内市営住宅の集約の検討に合わせてH32年度に協議、調整を行う。	集約化も視野に入れた中・大規模改修について、H32年度に協議、調整を行うため、入居状況、入居世帯の現状の把握、建物状況の把握等に努める。	
	55	上間藤単独住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	同上	同上	同上	
	56	渡良瀬単独住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	同上	同上	同上	
	57	清原住宅	施設継続	機能継続	3-3	着手 (事業)	給水管工事実施	給水管工事(3、9、10号棟)完了	当該年度の定期点検の結果により、次年度以降の改修計画を策定する。	長寿命化計画における中規模・大規模改修については、平成29年度の給水管工事を以て完了。今年度の定期点検の結果により、次年度以降の改修計画を策定していく予定。
	58	湯元住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	年次目標なし	H31年度に床・内装改修を実施することとなったため、当該年度の取組はなし。	年次目標なし	
	59	中宮祠住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	同上	H31年度に結露対策工事を実施することとなったため、当該年度の取組はなし。	同上	
	60	遠下住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	計画的な改修を順次実施するとともに、地域内の市営住宅の集約化等も視野に入れた調整を行う	入居時における修繕を随時実施。中規模・大規模改修については、次期長寿命化計画策定における地域内市営住宅の集約の検討に合わせてH32年度に協議、調整を行う。	集約化も視野に入れた中・大規模改修について、H32年度に協議、調整を行うため、入居状況、入居世帯の現状の把握、建物状況の把握等に努める。	
	61	足尾勤労単身者住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	同上	同上	同上	
	62	赤沢中央住宅	施設継続	機能継続		着手 (検討)	同上	同上	同上	

用途	No.	施設名		施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度目標	H29 年度実績	H30 年度目標	備考
		施設 (建物)	機能 (サービス)	施設 (建物)	機能 (サービス)						
保育園	63	原町みどり保育園		保有形態変更		4-1	着手 (検討)	地域内の民間幼稚園の認定こども園への移行に伴い、今後の施設の方向性を協議、調整を行う。	地域内の幼稚園2園に対し、認定こども園移行に伴う整備費の補助及び貸付けを行った。認定こども園の保育認定のこどもの定員等を確認し、今後の施設の方向性を協議した。	地域内の民間幼稚園の認定こども園への移行に伴い、今後の施設の方向性を協議、調整を行う。	
	64	並木保育園		施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	65	せせらぎ保育園		保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	66	しばやま保育園		保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	67	清滝保育園		保有形態変更			着手 (事業)	平成31年3月末の施設廃止に向けた具体的事務を進める。	平成31年3月末の廃止を決定した上で、平成29年度末で在園児が居なくなることになったため、平成30年3月にて休園とした。 機能廃止後の跡地活用については、今後、利活用対象財産のスキームで検討する。	施設の今後の活用等について、小学校の施設再編に併せて検討する。	
	68	日光保育園		保有形態変更			未着手	地域内の同機能施設との統合、民間活力の導入について検討する。	先行して藤原地域において、民間活力による保育施設の整備に着手したため、藤原地域の施設再編終了後に検討を開始する。	地域内の同機能施設との統合、民間活力の導入について検討する。	
	69	所野保育園		保有形態変更			未着手	同上	同上	同上	
	70	藤原保育園		保有形態変更		4-1	完了	平成30年4月の開園に向けて新たな統合保育園の整備を行う。 藤原保育園の今後の活用について、地元自治会と調整をする。	施設整備・運営法人(社会福祉法人つきかけ福祉会)に対して、整備費の補助や保育認定のこどもの定員等を確認して整備を行った。保育園機能を平成29年度末で廃止した。 機能廃止後の跡地活用については、今後、利活用対象財産の検討スキームで協議・調整する。	藤原保育園の今後の活用について、引き続き地元自治会と調整をする。 施設解体に向けて検討・協議を行う。	
	71	鬼怒川保育園		保有形態変更			完了	平成30年4月の開園に向けて新たな統合保育園の整備を行う。 鬼怒川保育園の今後の活用について、地元自治会と調整をする。	同上	鬼怒川保育園の今後の活用について、引き続き地元自治会と調整をする。 施設解体に向けて検討・協議を行う。	
	72	高德保育園		保有形態変更			着手 (事業)	高德・下原保育園を統合した新たな保育園の整備及び運営法人の募集を行う。	高德・下原保育園を統合した新たな保育園の整備及び運営法人の募集を行い、「社会福祉法人つきかけ福祉会」に決定した。	平成31年4月の開園に向けて新たな統合保育園の整備を行う。保育園機能の平成30年度末廃止に向けて具体的事務を進める。 機能廃止後の跡地活用については、今後、利活用対象財産の検討スキームで協議・調整する。	
	73	下原保育園		保有形態変更			着手 (事業)	同上	同上	同上	
	74	小来川保育園		施設廃止	機能継続		着手 (検討)	近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行う。 (小来川地区センター・小来川公民館・小来川小中学校・小来川保育園・林業研修センター・放課後児童クラブの統合について検討する。)	近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行った。	引き続き、近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行うとともに、合わせて、地区住民による検討会議等を設置し、合意形成を図りながら検討を進める。	
	75	三依保育園		施設廃止	機能継続	4-2	未着手	近隣公共施設等への機能複合化の検討をする。	施設再編についての方向性等が定まっておらず、未着手となった。H30年度については、三依・栗山中央・湯西川保育園の3園合同にて、湯西川保育園で保育を行うことに決定したため、休園することになった。	近隣公共施設等への機能複合化の検討をする。	
76	栗山中央保育園		施設廃止	機能継続	完了		施設解体に向けて検討・協議を行う。	旧栗山中央保育園は、H29年11月にて管財課に所管替えとなった。			

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備 考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
保育園	77	落合児童館	施設継続	機能継続	4-3	未着手	年次目標なし	H32年度に調整することとしているため、H29年度中の取組はなし。	年次目標なし	H32年度に調整
	78	塩野室児童館	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	79	豊岡児童館	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	80	足尾保育園(足尾認定こども園)	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	81	湯西川保育園	施設継続	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
放課後児童クラブ	82	こどもオアシス館「だいや」	施設廃止	機能継続	5-1	未着手	学校の調整状況により順次調整する。	対象学校が統廃合検討対象ではないため、調整を行わなかった。	学校の調整状況により順次調整する。	
	83	こどもオアシス館「だいや分館」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	84	こどもオアシス館「おおさわ」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	85	こどもオアシス館「おおさわ分館」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	86	こどもオアシス館「いのくら」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	87	こどもオアシス館「いのくら分館」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	88	こどもオアシス館「おおむろ」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	89	こどもオアシス館「おおむろ分館」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	90	こどもオアシス館「みなみはら」	施設廃止	機能継続		未着手	同上	同上	同上	同上
	91	スマイルクラブ	施設廃止	機能継続		着手 (検討)	学校の調整状況により順次調整する。	学校及び関係課と今後の児童クラブの設置場所や運営方法等について協議した。	学校の調整状況により順次調整する。	
	92	野口っ子クラブ	施設廃止	機能継続	着手 (検討)	同上	同上	同上		
	93	鬼怒川児童館	施設廃止	機能継続	5-2	完了	施設解体	統合保育園と併せた施設整備実施のため、整備箇所となる当施設と隣接する藤原保健センターを解体した。	完了	
	94	川治たんぼぼ広場	施設廃止	機能継続		未着手	近隣公共施設等への機能の集約・統合について調整し、施設複合化に向けた検討を行う。	川治たんぼぼ広場を利用しているこども達が鬼怒川小学校区のため、鬼怒川児童館を利用することで機能を継続できるものと考えていたが、利用状況、地域の現状(鬼怒川小学校から遠い、保育園・小学校・中学校の廃止)、スクールバスの運行関係から検討を見送った。	近隣公共施設等への機能の集約・統合について調整し、施設複合化に向けた検討を行う。	
95	下原児童館	施設継続	機能継続	—	未着手	年次目標なし	H35年度以降の計画的改修計画に計上することとしているため、H29年度中の取組はなし。	年次目標なし	H35年度以降の計画的改修計画に計上予定	

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29年度目標	H29年度実績	H30年度目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
文化会館 施設	96	今市文化会館	施設再編		6-1	着手 (検討)	施設再編の実行に向け、引き続きプロジェクトチームで検討していく。	施設再編の実行に向け、プロジェクトチームで3文化施設の集約統合の方向性等について検討した。	施設再編の実行に向け、引き続きプロジェクトチームにおいて、より具体的な事項(整備方法等)について検討していく。	
	97	日光総合会館	施設再編		6-1	着手 (検討)	施設再編の実行に向け、引き続きプロジェクトチームで検討していく。	施設再編の実行に向け、プロジェクトチームで3文化施設の集約統合の方向性等について検討した。	施設再編の実行に向け、引き続きプロジェクトチームにおいて、より具体的な事項(整備方法等)について検討していく。	
	98	藤原総合文化会館・藤原公民館	施設再編			同上	着手 (検討)	文化会館については、施設再編の実行に向け、プロジェクトチームで3文化施設の集約統合の方向性等について検討した。また、藤原公民館については、旧施設廃止後新藤原庁舎に移転した。	同上	
公民館施設	99	中央公民館	施設再編		7-1	未着手	隣接する文化会館の再編と併せ、複合化及び施設機能の集約について検討する。	文化会館整備の協議・検討に併せ進める必要があったため。	隣接する文化会館の再編と併せ、複合化及び施設機能の集約について検討する。	
	100	勤労青少年ホーム	施設再編			未着手	同上	同上	同上	
	101	川俣公民館	施設廃止	機能継続	7-2	着手 (検討)	施設の廃止に向けて、地域、関係機関と協議、調整する。	地域住民への説明を実施。	施設(機能)廃止	・8月現在、廃止に向け総務課・社会福祉課と条例改正等に関して調整中。 ・廃止後の財産区分の変更について、管財課と協議済
	102	日向公民館	施設廃止	機能継続		着手 (検討)	同上	同上	同上	同上
	103	旧足尾公民館	施設廃止	機能廃止	7-3	着手 (検討)	子育て支援課がすすめている放課後児童クラブの移設調整状況を把握し、連携を図る。	子育て支援課がすすめている放課後児童クラブの移設調整状況を確認した。	子育て支援課がすすめている放課後児童クラブの移設調整の結果を待つ。	
美術館・ 博物館	104	小杉放菴記念日光美術館	施設継続	機能継続	8-1	着手 (事業)	展示室照明システム設備改修工事の検討。	美術館展示室用ウォールケース内クロス張替工事を実施した。	展示室照明システム設備改修工事の実施。	※H33～H35年度における工事予定は実施計画には未掲載。 また、H33～H35年度における工事予定は、大規模修繕工事計画の記載年度を前倒している。
図書館	105	今市図書館	施設継続	機能継続	9-1	着手 (事業)	建築基準法による12条点検結果を踏まえ、今後の改修計画の検討を行う。	12条点検結果以外の部分で冷暖房用冷温水ストレーナーの修繕を実施した。	建築基準法による12条点検結果を踏まえ、改修を実施する。	
	106	藤原図書館	施設再編			未着手	緊急な修繕が必要な場合に小規模な修繕を行う。	緊急的な修繕が生じなかったため	緊急な修繕が必要な場合に小規模な修繕を行う。(空調設備改修)	H35年度以降、改修実施予定 ※H28年度に緊急的な屋根修繕を実施した。
コミュニ ティセン ター	107	赤間々会館	施設継続	機能継続	10-1	着手 (検討)	建築基準法による12条点検を実施(管財課主管)	12条点検を実施(管財課主管)。	点検の報告内容により、建物の長寿命化のための工事内容等を検討する。(庁内、運営委員会、国県等)	
	108	女性サポートセンター	施設継続	機能転換 (多機能化)	10-2	着手 (検討)	関係部署による協議によって現状把握、課題の抽出を行い、平成30年度以降の方向性を決定する。	女性サポートセンター・清滝体育館の中に清滝出張所・清滝公民館を統合する再編案を基本として庁内関係課による検討・調整を行った。また、小学校については学校統廃合の検討に委ねることとした。	清滝郵便局複合化についての協議が日本郵便からあったことから、郵便局機能の複合の可能性について、検討・協議を進め、庁内関係課間で再編後の施設の機能を調整する。また、地区住民への説明・調整等を進める。	
	109	下原地区コミュニティセンター	保有形態変更		10-3	着手 (検討)	下原地区コミュニティ推進協議会を中心に、活用検討会を開催し、今後の方針を決定する。	日光土木と今後の土地利用について、栃木県とコミュニティセンター新築時の補助金について、生涯学習課と今後の代替施設について、それぞれ協議を行った。	代替利用施設として、中央コミュニティセンター、赤間々会館があげられるため、生涯学習課との調整を進め、地元自治会などの利用者へ今後の方針について周知する。	
	110	今市中央コミュニティセンター	施設廃止	機能転換 (多機能化)		着手 (検討)	下原地区コミュニティセンターを廃止する場合の代替施設候補として考えられることから、今後の方針については下原地区コミュニティセンターの状況を待った上で検討する。	年度目標のとおり、下原地区コミュニティセンターの今後の方針が定まっていないため、特に検討なし。	下原地区コミュニティセンター廃止後、今市中央コミュニティセンターへの受入について、利用状況の把握を行う。	※下原地区コミュニティセンターを廃止する場合の代替施設候補として考えられることから、今後の方針については下原地区コミュニティセンターの状況を待った上で検討する。

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度目標	H29 年度実績	H30 年度目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
集会所等 施設	111	関の沢集会所	施設継続	機能継続	11-1	着手 (検討)	年次目標なし	建築基準法による12条点検を実施(管財課主管)	12条点検の報告結果を踏まえ、今後の改修計画の検討をおこなう。	
	112	所野コミュニティセンター	保有形態変更			着手 (検討)	前年度に引き続き、所野コミュニティ推進協議会との協議を行う。	所野コミュニティ推進協議会と譲渡へ向けての協議を行った。	引き続き、所野コミュニティ推進協議会との協議を行う。	
	113	小来川農業集落多目的集会施設	保有形態変更			着手 (検討)	将来的に近隣施設への機能の集約・統合や集会所間の集約・統合、地元への譲渡に向けた検討、協議、調整を行う。	地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	地元への譲渡に向けた対応方法が決定次第、関係者との協議、調整を進める。	
	114	とちぎ日光材細尾モデルセンター	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	115	宮小来川集会施設	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	116	山久保集会施設	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	117	南小来川集会施設	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	118	滝ヶ原間伐材等利用推進施設	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	119	鬼怒川地区コミュニティセンター	施設廃止	機能転換 (多機能化)	11-2	着手 (検討)	地元自治会に対し施設の現況を説明し、今後の方向性について意見を伺いながら協議検討を行う。	地元自治会に対し施設の現況を説明した。それを受け、鬼怒川地区コミュニティセンター運営協議会を形成する9自治会長から代替施設の確保等について要望書が提出され、市としては要望に沿った方向で検討する旨回答した。その後、避難所の代替施設として要望のあったホテルを訪問、状況を説明し内諾を得ることができた。	避難所、選挙投票所、集会所の機能の代替施設を確保し、地元自治会長の了解を得る。解体についての予算措置、工程等の検討を行う。条例、規則の改正を行う。	
	120	川治地区コミュニティセンター	保有形態変更			未着手	地元自治会に対し施設の現況を説明し、今後の方向性について意見を伺いながら協議検討を行う。	譲渡等の条件面の調整が整わなかったことから、地元への説明まで至らなかった。	地元自治会に対し施設の現況を説明し、今後の方向性について意見を伺いながら協議検討を行う。	
	121	芹沢生活改善センター	保有形態変更			着手 (検討)	地元への譲渡に向けた対応方法が決定次第、関係者との協議、調整を進める。	地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	地元への譲渡に向けた対応方法が決定次第、関係者との協議、調整を進める。	
	122	高德生活改善センター	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	123	大原地区集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	124	小佐越地区多目的集会センター	保有形態変更			着手 (検討)	地元への譲渡に向けた対応方法が決定次第、関係者との協議、調整を進める。	地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	地元への譲渡に向けた対応方法が決定次第、関係者との協議、調整を進める。	
	125	藤原地区集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	126	鶏頂地区活性化センター	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	127	柄倉多目的集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	128	小原地区多目的集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備考	
			施設 (建物)	機能 (サービス)							
集会所等 施設	129	砂畑集会所	施設廃止	機能廃止	11-2	着手 (検討)	施設の使用状況及び劣化状況を把握し、集約・統合・譲渡について内部で協議する。	施設の使用状況及び劣化状況の調査を実施。地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	地元への対応方法が決定次第、施設廃止、集約を視野に入れて、地元自治会と調整する。		
	130	足尾南部生活改善センター	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上	施設の使用状況及び劣化状況を調査。近隣に中才集会所があるため、施設の廃止・解体について、検討を行った。	中才集会所が近隣にあることから、当該施設の廃止・解体を含め、地元自治会と協議する。		
	131	足尾東部生活改善センター	保有形態変更			着手 (検討)	同上	施設の使用状況及び劣化状況の調査を実施。地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	地元への対応方法が決定次第、集約ならびに譲渡を視野に入れて、地元自治会と調整する。		
	132	田元集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	地元への対応方法が決定次第、集約ならびに譲渡を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	133	内の籠集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	施設廃止、集約を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	134	餅ヶ瀬集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	同上	
	135	掛水集会所 (足尾消防団詰所第2分団第1部)	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	地元への対応方法が決定次第、集約ならびに譲渡を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	136	南橋集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	施設廃止、集約を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	137	上の平集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	地元への対応方法が決定次第、集約ならびに譲渡を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	138	唐風呂集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	施設廃止、集約を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	139	向原集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	地元への対応方法が決定次第、集約ならびに譲渡を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
	140	野路又集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	141	上間藤集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	142	下間藤集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	143	原集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	144	通洞集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	145	切幹林業活動促進センター	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	同上		同上	同上	
	146	遠下林業活動促進センター	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	同上	
	147	赤倉集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	地元への譲渡に向けた対応方法が決定次第、地元自治会と調整する。	
	148	中才集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上		同上	地元への対応方法が決定次第、集約ならびに譲渡を視野に入れて、地元自治会と調整する。	
149	赤沢集会所	保有形態変更		着手 (検討)	同上		同上	同上			
150	松原集会所	施設廃止	機能廃止	着手 (検討)	同上		同上	同上			

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
集会所等 施設	151	戸中集会所	保有形態変更		11-2	着手 (検討)	自治会へ譲渡するための方策について検討していく。 自治会長と協議調整を行う。	同上	自治会長会総会時に譲渡に関する方針を説明、自治会長と協議調整を行う。	
	152	若間集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	153	湯西川上集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	154	上栗山集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	155	日向集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	156	大王集会所	保有形態変更			着手 (検討)	自治会へ譲渡するための方策について検討していく。 自治会長と協議調整を行う。	地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	自治会長会総会時に譲渡に関する方針を説明、自治会長と協議調整を行う。	
	157	小指集会所	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	当該施設については、取り壊すことを前提に自治会との協議を進める。自治会長と協議調整を行う。	同上	同上	
	158	小穴集会所	施設廃止	機能廃止		完了	日向集会所と統合することを前提に自治会との協議を進める。自治会長と協議調整を行う。	地権者の要望により解体(完了)		
	159	日蔭集会所	保有形態変更			着手 (検討)	自治会へ譲渡するための方策について検討していく。 自治会長と協議調整を行う。	地元への譲渡に向けた対応方法・条件等について、各行政センターと各地域の状況を踏まえ協議検討を行ったが、譲渡の方法が決定されていない。	自治会長会総会時に譲渡に関する方針を説明、自治会長と協議調整を行う。	
	160	野門集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	161	川俣集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	162	土呂部集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	163	川俣温泉集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	164	黒部集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	165	青柳平集会所	保有形態変更			着手 (検討)	同上	同上	同上	
166	西川集会所	保有形態変更		着手 (検討)	同上	同上	同上			
167	湯西川下地区集会所	保有形態変更		着手 (検討)	同上	同上	同上			
スポーツ 施設	168	今市運動公園	施設継続	機能継続	12-1	着手 (検討)	老朽化調査を実施する。	体育センター、本球場管理棟の老朽化調査を実施した。	老朽化調査の結果を基に、今後の施設の改修等を検討する。	H32年度に大規模改修実施予定 ※H26年度に改修工事を実施し、屋根の改修、外壁クラックの補修、アリーナ内排煙窓設置をした。
	169	丸山公園	施設継続	機能継続		着手 (事業)	プール塗装工事を実施する。丸山公園内施設の老朽化調査を実施する。	プール塗装工事を実施した。 グリーンスポーツ施設、プール管理棟の老朽化調査を実施した。	老朽化調査の結果を基に今後の改修等を検討する。	
	170	霧降スケートセンター	施設継続	機能継続		着手 (事業)	年次目標なし	冷却水ポンプ整備修繕工事、非常灯改修工事を実施	年次目標なし	H32年度に大規模改修実施予定 ※H25年度にリンク改修、浄化槽一部改修、管理棟外壁塗装を行った。 行程(現状)欄について…H30年度に管理棟(防災監視盤)改修、H31年度に浄化槽改修、冷凍機等改修、H32年度にリンク内床面改修を予定。

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度目標	H29 年度実績	H30 年度目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
スポーツ 施設	171	落合運動公園	施設再編		12-2	着手 (検討)	共有化の検討のために、当該施設の時間帯別の利用状況の集計の実施をする。老朽化調査を実施。老朽化調査の結果を基に、今後の改修等を検討する。	体育館、ミーティングルームの老朽化調査を実施した。	老朽化調査の結果を基に、今後の施設の改修等を検討する。	H29年度に検討 ※H26年度に耐震改修工事を実施、耐震補強、床の改修、バスケットゴールの設置、屋根の改修、内壁の改修等を行った。
	172	豊岡運動公園	施設再編			着手 (検討)	同上	同上	同上	
	173	日光体育館	施設再編			未着手	建替え検討と併せ、共有化の検討	建替えについての具体的な内部での検討が行えなかったため、共有化の検討についても議論に至らなかった。	年次目標なし	※H25年度に耐震改修工事、屋根の改修、外壁クラックの補修を行った。
	174	足尾市民センター	施設継続	機能継続		着手 (検討)	今後の施設について体育協会足尾支部、文化協会足尾支部と近隣学校体育施設との共有化、同機能の集約・統合の可能性について協議、調整を行う。	利用関係団体との協議の結果を受け、当面現状の利用形態を継続することとしたが、築後年数の状況から、今後の大規模改修・建替えに際しては、利用状況、利用内容等を踏まえ、学校統廃合の状況も加味しながら調整する。	小中学校の統合後に改めて協議する。	
	175	湯西川体験農業交流センター	施設再編			未着手	将来的な建替、近隣学校体育施設との共有化、同機能の集約・統合の可能性について地元と検討を行う。	将来的な建替、近隣学校体育施設との共有化、同機能の集約・統合の可能性について、指定緊急避難場所としての位置付けも踏まえて検討する必要があるため、地元との協議を見送った。	将来的な建替、近隣学校体育施設との共有化、同機能の集約・統合の可能性について地元と検討を行う。ただし、湯西川の指定緊急避難場所として指定されていることから、慎重な検討を行う。	
	176	川治プール	施設廃止	機能廃止	12-3	着手 (事業)	施設の廃止に向けて、地域、関係機関と協議、調整する。	施設の廃止に向けて、地域、関係機関と協議、調整した。	年度中に条例を廃止する。	
	177	藤原プール	施設廃止	機能廃止		着手 (事業)	同上	同上	同上	
	178	足尾プール	施設廃止	機能廃止		着手 (検討)	施設廃止に向けて、授業で使用する機会がある足尾小・中学校と調整をする。	小中学校の授業利用部分は調整が可能という確認ができた。学校利用以外での地域利用者等の意見も把握したが、施設の築後年数から考えると安全面や維持管理コストの状況を総合的に判断しながら、今後調整を行う。	廃止に向けて、行政センターと協議し、調整が必要な団体の洗い出しを行う。	
観光施設	179	温泉保養センター「かたくりの湯」	施設継続	機能継続	13-1	着手 (検討)	利用者の安全確保のための必要な改修工事を実施するとともに、施設利用者が減少傾向にあることを踏まえ、利用促進に向けた取組について指定管理者と協議を進める。また、今後予想される大規模改修の実施判断基準等について、部内での協議を行う。	利用者の安全確保のため、浴槽の床タイル張替工事を行った。利用促進に向けた取組について、新規利用者獲得のため、観光施設にチラシを設置し、施設のPRを実施した。利用者の安全確保のための修繕や、今後予想される大規模改修の実施判断基準の基礎とするため、建築基準法による12条点検を行った。	利用者の安全確保のために必要な修繕を行うとともに、平成29年度に実施した12条点検結果も踏まえ、計画的な大規模改修に向けて部内協議を行う。	
	180	今市宿市縁ひろば	施設再編			着手 (検討)	施設の利用状況やニーズを調査し、特有の機能を持った施設とするため、部内において機能の方向性を検討する。	施設の利用状況やニーズを調査し、機能の方向性を検討したが、再度、施設のあり方について検討することとした。	施設の利用状況に加え、周辺施設との連携状況等を調査し、次期指定管理も含め、施設のあり方について調整・検討する。	
	181	温泉保養センター「日光温泉」	施設継続	機能継続		着手 (検討)	施設の利用状況についての基礎数値(過去数年分)を抽出し、分析する。施設の老朽度の分析を行う。	施設の老朽化の程度について、劣化診断票による調査を行った。利用状況の基礎数値の整理は行えなかった。	今後の施設改修並びに維持管理費用状況も勘案し、利用状況も含め施設の方向性を検討する。	
	182	日光木彫りの里工芸センター	保有形態変更		13-2	着手 (検討)	木彫りの里工芸センターについては指定管理により運営(H29～33) 野外ステージ・屋外トイレ・ふるさとの家・テニスコート・第二体験教室等については、利用頻度や老朽度を勘案し、解体・売却等に向けあり方を検討する。	野外ステージ・屋外トイレ(ひょうたん池)・水車小屋については解体。テニスコートについては売却の方針で決定。指定管理者と地元自治会の承諾を得た。	テニスコートの売却に向けて情報を公開する。	
	183	交流促進センター	保有形態変更			着手 (検討)	施設の利用状況についての基礎数値(過去数年分)を抽出し、分析する。施設の老朽度の分析を行う。	施設の老朽化の程度について、劣化診断票による調査を行った。利用状況の基礎数値の整理は行えなかった。	管理運営形態の見直しに向けて、施設の利用状況についての基礎数値(過去数年分)を抽出、分析し、次期指定管理者選定までに民間譲渡も含め検討する。	
	184	川治ダム資料館	保有形態変更			未着手	鬼怒川ダム統管理事務所、川治自治会連合会、川治温泉観光協議会等との協議を行う。	管理運営形態見直しの内容について内部協議は整わなかったため、関係団体との協議に至らなかった。	鬼怒川ダム統管理事務所、川治自治会連合会、川治温泉観光協議会等との協議を行う。	
	185	上三依水生植物園	施設継続	機能継続		着手 (検討)	管理棟の屋根の補修について協議を行う。	12条点検を実施した。改修箇所等の協議については、12条点検の結果に基づき調整することとした。	平成29年度に実施した12条点検結果に基づき改修箇所等の協議調整を行う。	

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度目標	H29 年度実績	H30 年度目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
	186	庚申山荘	施設再編		13-2	未着手	改修時期等の検討に改修時期等の検討に際しては、利用状況を踏まえ、利用規模や管理体制の見直しについて検討を行う。	施設の劣化状況を把握した上で次年度以降に改修時期の検討調整を行うこととしたことから、管理体制の見直し検討には至らなかった。	改修時期等の検討に際しては、利用状況を踏まえ、利用規模や管理体制の見直しについて引き続き検討を行う。	
	187	足尾銅山観光	施設再編			未着手	同上	改修計画等は未着手で、今後は施設内建築物の劣化状況などを把握したうえで、次年度以降に地権者との協議を行い施設全体の改修時期の検討調査を行うこととしたことから、管理体制の見直し検討には至らなかった。	改修時期等の検討に際しては、利用状況を踏まえ、利用規模や管理体制の見直しについて検討を行う。	
	188	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	保有形態変更			未着手	指定管理者を含めた民間譲渡の検討をする。	民間譲渡の条件について、内部調整が整わずに検討できなかった。	指定管理者を含めた民間譲渡を引き続き検討する。	
	189	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	保有形態変更			未着手	同上	同上	同上	
	190	平家の里	施設継続	機能継続	13-3	未着手	茅葺屋根施設の長寿命化の可能性について検討する。	施設の拡張整備後に検討するために、見送った。	利用料金の収入増加のため、施設の拡張整備を設計する。	
	191	野門温泉共同浴場「家康の湯」	施設廃止	機能廃止	13-4	完了	建物の解体について、解体する時期も含めて検討する。	家康の里全体(家康の湯、園地、公衆トイレ、駐車場)のあり方について、検討中のため	建物の解体について、地元と協議検討する。	※耐用年数24年、H31年に経過。施設機能の廃止自体は完了
保健・福祉施設	192	今市保健福祉センター	施設継続	機能継続	14-1	着手(事業)	施設の長寿命化に向け、エアコンの改修工事(ボランテア室他3か所)及び屋根塗装改修工事を実施する。	施設の長寿命化に向け、エアコンの改修工事(ボランテア室他3か所)及び屋根塗装改修工事、自動ドア装置改修工事、駐車場区画線改修工事、電話交換機改修工事を実施した。	施設の長寿命化に向け、次年度以降の改修について検討する。	
	193	日光福祉保健センター	施設継続	機能継続		着手(事業)	中規模改修にむけた検討、協議を行う。エレベーター修繕(29年度に部品供給停止のため)	指定管理者と協議し、老朽化した空調設備の改修費用のH30年度当初予算要求を行った。エレベーター修繕を行った。	建物定期点検(法12条点検)の結果に基づき必要な改修費用についてH31年度予算要求を行う。空調設備改修工事の実施	
	194	生きがいセンター	施設継続	機能継続		着手(事業)	屋根や外壁塗装の劣化が進んでいるため、実施計画に追加しH30年度当初予算に計上する。施設維持に必要な修繕箇所等を指定管理者と協議し、市が実施すべきものについては適宜予算要求を行う。	屋根や外壁塗装等の費用についてH30年度当初予算要求を行うが、建物定期点検(法12条点検)の結果を踏まえてH31年度当初予算要求することになる。老朽化した空調設備の改修を行った。	建物定期点検(法12条点検)の結果に基づきH31年度予算要求を行う。	
	195	奥日光診療所	施設継続	機能継続		着手(事業)	施設の長寿命化に向け、劣化状況の確認を実施し、次年度以降の改修に向け検討する。	劣化状況の確認を実施した結果、早急に対応が必要と思われる診療所内の隙間・亀裂及び床材の剥がれがあったため、補修・改修工事を行った。	施設の長寿命化に向け、次年度以降の改修について検討する。	
	196	小来川ディサービスセンター	施設継続	機能継続		着手(検討)	指定管理者と協議し、必要な修繕費の予算要求を行う。	指定管理者と協議の結果、予算要求の必要な緊急修繕箇所がなかった。	建物定期点検(法12条点検)報告書に基づく修繕等の検討を行う。	
	197	小来川診療所	施設継続	機能継続		着手(検討)	今年度から指定管理者制度を導入する。施設の長寿命化に向け、劣化状況を確認し、指定管理者と協議する。	劣化状況を確認した結果、外壁等の劣化等が見つかった。	施設の長寿命化に向け、次年度以降の改修について検討する。	
	198	藤原保健センター	施設廃止	機能転換(多機能化)	14-2	完了	平成29年11月から解体工事実施予定	平成29年度解体工事完了	完了	
	199	藤原高齢者福祉センター	施設廃止	機能廃止		完了	施設解体	施設解体(完了)	完了	
200	こども発達支援センター「うぐいす園」	施設廃止	機能廃止	完了		施設解体	統合保育園施設整備実施のため、整備箇所となる当該施設と隣接する藤原高齢者福祉センターを解体した。	完了		

用途	No.	施設名	施設評価		取組No.	H29 進捗状況	H29 年度 目標	H29 年度 実績	H30 年度 目標	備考
			施設 (建物)	機能 (サービス)						
産業系施設	201	農村環境改善センター	施設再編		15-1	未着手	日光市土地改良区の事務所としての利用がある現状や施設の老朽化度合等を勘案し、施設の保存、廃止や一部保存、また地元自治会への移譲も含め、農林課内部で検討し方針を固める。	今後の管理運営(指定管理)の問題が大きな課題となり実施には至らなかった。	関係部署等を含め施設の一部廃止に向けた協議、調整を行う。	
	202	小来川林業研修センター	施設再編			着手 (検討)	近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行う。 (小来川地区センター・小来川公民館・小来川小中学校・小来川保育園・林業研修センター・放課後児童クラブの統合について検討する。)	関係各課が集まり、集約・再編にあたっての課題の抽出等、検討を行った。	引き続き、近隣公共施設への機能の統合、施設複合化について関係各課が集まり検討を行うとともに、合わせて、地区住民による検討会議等を設置し、合意形成を図りながら検討を進める。	
	203	ふれあいの郷小来川	保有形態変更		15-2	着手 (検討)	地元生産組合等が利用主体であることから、利用状況等も踏まえ、生産組合への施設譲渡の可能性について、検討調整を行う。	地元生産組合等と施設譲渡の可能性について、協議調整を行うための検討を行ったが、調整が図れなかった。	譲渡の可能性についての条件面の整理・調整等を図りながら、引き続き、地元生産組合等と協議・調整を行う。	
	204	青柳平展示直売所	保有形態変更			未着手	栗山ふるさと物産センター管理組合への施設譲渡の可能性について、検討調整を行う。	建物の老朽化、譲渡方法について内部での調整が整わなかったため、管理組合との協議は見送った。	栗山ふるさと物産センター管理組合への施設譲渡の可能性について、検討調整を行う。	
	205	公設地方卸売市場	施設廃止	機能廃止	15-3	完了	施設の解体を進める。 H29.8解体設計完了、H29.9解体工事入札、H30.1解体工事完了・移管	H30.3解体工事完了		